

地方創生への取組み

地方創生とは、各地域がそれぞれの特徴を活かし、自律的で持続的な社会をつくりだすことです。当金庫は地方創生のために、自治体や地域の事業者と連携して様々な取組みを行っています。

<最近の当金庫の取組み>

1. 「長良川流域の地域資源を活用した観光事業拡大セミナー」

平成30年5月18日（金）

長良川流域の観光交流人口の増加と中小企業の観光による事業拡大を目的として、当金庫、関信用金庫、八幡信用金庫、長良川流域観光推進協議会が連携して昨年に引き続き開催しました。

17事業者が参加し、長良川流域の観光分析や観光事業の目的やメリットについての講演後、体験型プログラムを作成するワークショップも開き、参加者は観光事業について理解を深めました。

また、参加者が作成した体験型プログラムは本年夏・秋の「長良川おんぱく」（長良川流域の文化やグルメの魅力を体験する文化交流イベント）に掲載されます。



2. 「地元を元気にするプロジェクト in 中津川・恵那」

平成30年7月7日（土）

当金庫と包括連携協定を締結している中津川市・恵那市の両市では、高校卒業後の若者の市外流出と地元企業の人手不足が大きな課題となっています。そこで高校生を中心とした若者の地元企業への就職促進と地元企業の人材確保の機会創出のため、標記プロジェクト（企業説明会）を昨年に引き続き開催しました。

当金庫取引先を中心に47社がブースを構え、高校生や大学生、保護者らが来場されました。

当日は、大雨警報の影響もあり学生の数は少なめであったことは残念でしたが、企業側からは高校生と直接話をする機会が必要との意見が多数あり、今後も、若者が地元企業に目を向ける機会を創出していきたいと思います。

